透析患者に関する薬剤情報
医療法人仁真会 白鷺病院 薬剤科

## ◎ムコスタ錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】レバミピド Rebamipide 【分類】胃潰瘍治療剤

【単位】◎100mg/錠

【常用量】300mg/日

【用法】■胃潰瘍:1日3回朝・夕と眠前

■急性胃炎、慢性胃炎の急性増悪期における胃粘膜病変(びらん、出血、発赤、浮腫)の改善:1日3回

【透析患者への投与方法】減量の必要なし(5)

【その他の報告】直接胃粘膜に作用して効果を発揮するため減量しないが、腎不全では血中濃度が上昇するため要注意(新薬と臨床 44:1179-82,1995)

【保存期 CKD 患者への投与方法】減量の必要なし(5)

【特徴】胃粘膜プロスタグランジン含量増加作用、胃粘液量増加作用を有する防御因子増強剤. 潰瘍面を均一な粘膜で再生し、再発・再燃を抑制する. 血中に移行して作用するのではなく、直接胃粘膜に作用して効果を発揮する.

【主な副作用・毒性】ショック,アナフィラキシー,血球減少,肝障害,過敏症,女性化乳房,浮腫,動悸,脱毛など.

【安全性に関する情報】HD 患者において汎血球減少症の症例報告(大石明子, 他: 腎と透析 54:123,2003)

【吸収】吸収率約10%(1)

【tmax】約2hr (1)

【代謝】肝代謝され、そのままグルクロン酸抱合されるか、8・水酸化体がグルクロン酸抱合される(1) CYP3A4により8・水酸化体が生成し、その活性は弱い(1) CYP を阻害しない(1)

【排泄】尿中未変化体排泄率10%(1)であるが、Fが不明のため低いとは断定できない(5)

【腎CL】273mL/min (1)

【t1/2】6.2hr, 透析患者: 9.2hr (新薬と臨床 44: 1179-82, 1995)

【蛋白結合率】98.4~98.6%(1)

【分布】胃内に高濃度で分布(1)

[MW] 370.79

【透析性】資料なし(1)蛋白結合率が高いため、透析で除去されにくいと思われる(5)

【TDM のポイント】TDM の対象にはならない

【透析患者の薬物動態】単回投与の Cmax は正常腎機能者で 184ng/mL なのに対し、透析患者では 679ng/mL に上昇 (新薬と臨床 44: 1179-82, 1995) 透析患者に反復投与しても蓄積しない (1)

【O/W 係数】 0.60 [1-オクタノール水系, pH7] (1) 【pKa】 3.3 (1)

【更新日】20230705

※正確は青椒を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適別性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断能載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法位のご国際条約により保護されています。

直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。